

生産コスト上昇の影響を受ける農業者の セーフティネットの強化について

【担当省庁】農林水産省

生産資材の価格高騰等によって生産コストが高止まりする中、改正された「食料・農業・農村基本法」に規定される「農業資材の価格変動への影響緩和」や「食料の合理的な価格の形成」など、農業者のセーフティネットに資する施策の実現に向け、以下の措置を講じていただきたい。

- 肥料や粗飼料の価格高騰分を補てんする恒久的な制度の創設や、燃油や配合飼料などの既存制度の制度発動基準になる価格の算定方法の見直しなどの制度改善により、生産に欠かせない農業資材のセーフティネットの整備
- 農林水産物の適正な価格形成を図るための仕組みづくりや消費者の理解醸成の推進

【現状・課題等】

■肥料や粗飼料の価格高騰時のセーフティネット

- ▶ 燃油や配合飼料のセーフティネットとして、それぞれ、「施設園芸等燃料価格高騰対策事業」と「配合飼料価格安定対策事業」が制度化されている中、肥料や粗飼料についても同様のセーフティネットが生産現場から求められている。
- ▶ 基本法改正案に「農業資材の価格変動への影響緩和」が規定されているが、農業者が更に安心して経営できるよう、肥料や粗飼料についても具体的な制度を構築し示すことが必要

■「施設園芸等燃料価格対策事業」及び「配合飼料価格安定対策事業」の制度拡充

- ▶ 農業者が更なる燃油高騰に備えられるよう、令和4年度から積立額の上限を引き上げたコースを臨時的に追加されているが、燃油価格の高止まりが続く中、農業者が安心して経営できるよう恒久的な措置にしていきたい。
- ▶ 施設園芸等燃料価格対策事業や配合飼料価格安定対策事業の発動基準は、過去のA重油や原料等の価格に基づくものであるが、近年の価格の高止まりにより発動されにくくなっており、制度の見直しが必要

■適正な価格形成

- ▶ 国では、適正な価格形成の仕組みづくりに向け、生産から消費までの関係者を集めた協議会での議論や品目ごとのコスト把握、消費者の理解増進などを進めているところ。適正な価格形成に向けた法制化などの仕組みづくりを進めていただきたい。

京 都 府 の担当課	農林水産部 農政課(075-414-4901) 農産課(075-414-4953) 畜産課(075-414-4983)
---------------	---

【国の事業等】

- 「食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律」 令和6年5月29日成立
- 肥料価格高騰対策〔農林水産省〕 788億円（令和4年度補正予算）
- 国内肥料資源利用拡大対策事業〔農林水産省〕 56億円（令和5年度補正予算）
- 施設園芸等燃料高騰対策事業〔農林水産省〕 45億円（令和5年度補正予算）
- 配合飼料価格高騰緊急対策事業〔農林水産省〕 965億円（令和4年度予備費）

【京都府の取組】

- 肥料高騰緊急対策事業・肥料高騰緊急対策拡充支援事業
（令和4年度補正予算 50,000千円）
 - ▶ 肥料価格高騰を受け、海外からの輸入に依存する化学肥料から国産有機質肥料等への転換をはかる農業者を支援（対象品目：野菜、花き類、水稻、茶等）
- 宇治茶生産省エネ推進緊急対策事業（令和4年度補正予算 360,000千円）
 - ▶ 燃油価格高騰により、生産コストが増大し、経営が厳しい状況にある茶生産農家に対して、低コスト化・効率化に寄与する省エネ製茶機器の導入を緊急的に整備支援
- 輸入飼料価格高騰対策緊急支援事業（令和4年度補正予算 340,000千円）
 - ▶ コロナ禍やウクライナ情勢により、出荷・販売等の経済活動に影響を受けた畜産農家に対し、放牧や自給飼料生産による購入飼料費低減等、飼料の年間使用量を概ね20%以上低減する取組等を支援
- 農林水産業経営改善支援事業（省エネ機器転換支援事業）
（令和5年度補正予算 1,700,000千円）
 - ▶ 燃油価格高騰により、生産コストが増大し、経営が厳しい状況にある農業者に対して、低コスト化や効率化を進めるための省エネルギー型生産機械の導入や集出荷施設等の省エネ化を図る取組を支援
- 耕畜連携推進事業（令和6年度当初予算 45,000千円）
 - ▶ 化学肥料及び配合飼料の高止まりにより、生産コストが増大し、経営が厳しい状況にある耕種農家及び畜産農家に対して、自家飼料の生産機器の導入等の耕畜連携の取組や飼料作物等の輸送に係る経費を支援